

協同運営委員会第6回総会議事録

2014年11月26日午後5時30から6時15 岡本事務所にて

出席者 12名

記録作成：S

司会者にIがついた。

議題Ⅰ. 各部会報告について

*コモンズ・ハート部会

議事録二つ送った。

KI：添付資料参照。直近で変わったこと、ガレージの奥に棚を作り照明をつけた。作業がないときにお店のな雰囲気を作る。バザーに向けて衣類を選別している。ガレージを有効活用したいので、金曜日だけでなく火曜日も使いたい。

KS：電話係をしているが直接KIさんやNさんにかかってくることもある。

I：リーフレットの効果は。

KS：病院の院長から以来があった

*うたかめ部会

M：自然館の閉店により代替品を探している。小麦粉はまだ。うたかめの不明金対策。うたたねやのカウンターで昼食用の市販品を持ち込むことの可否を検討した。総務との話し合いで休憩室の確保ができないか交渉している。

うたたねやとコモンズの連絡はメールに一本化した。

メニューの開発は議論進まず。

*コミ部会

I：HPの改良をしている。スロワークを移し変えようとしている。

*コモンズ部会

助成金について

N：要約の方をよんでほしい。読み上げる。見積もりがくるって、うまくいくとは思われないが、あえて応募したのは、応募することで事業計画を考えていくきっかけにしたい。給与の引き上げも関係してくる。自分たちで考えて作っていくという一例。コモンズ・ハートも助成金申請してもいいかともう。

M：申請の理由、これを作るほうはいいが、販売先の開発も必要。

I：これが取れなかったときはどうするか。

N：取れなくてもこの計画のとおりやろうとしている。

T：今の物販は60万円、これを数倍にするということは難しいのではないか。

I：昼の営業に影響しないか。

N：助成金の性格からすれば新しい事業を要求される、メンテ的なものは出せない。

議題Ⅲ. その他 自主管理について

S：誰かが辞めても代わり合っていける体制をどう作れるか。スタッフがいろいろな役割を代わり合えるような体制を作って行きたい。メンバーがスタッフになることも考えていく、そうした体制を作ることで、事業計画についても主体的に参加できるのではないか。

I：職業指導員に誰でもなれるように、垣根をとりはらう。トラブルがあるときは大変だが。

NKさんとMさんが代わり合えるようにしている。

N：4月目標。A型だけでなく、コモンズ・ハートとのリンクもありうる。

I：A型はベースだけど、それだけでは最賃を超えるのは難しい。

I：誰でも入れるようにするといってもそんなに簡単ではない。整理が必要。引継ぎができるように。代わり合えるようにすることを評価しあおう。

「はた楽通信」を出した。

その他 勉強会について

S：韓国原州の協同組合の創始者はキリスト教の神父で、相棒をえて、活動を始めたが、教育について徹底してやったと聞いた。当時は炭鉱夫が多かったが、重労働のあと学習の機会をつくっていたとのこと。この総会も時間的な余裕が出てきたので、30分でもいいから何か適当な本の輪読会をやってはどうか。人の話を聞くだけなら退屈するから、輪読会の方がいいと思う。

適当な本を探しておきたい。できれば次回から始めたい。コピーを用意する。

次回会議

2015年3月18日午後5時半から 岡本事務所にて